

慶應義塾看護百年のあゆみ

慶應看護の 創設

慶應義塾における看護教育は、大正7年に開設した「慶應義塾大学医学科付属看護婦養成所」に始まります。160名の志願者から選抜された第一回生54名の入学式が三田で開催されました。

安政5年(1858)	慶應義塾開塾 江戸築地鉄砲洲に蘭学塾を開く
明治元年(1868)	慶應義塾と命名
明治4年(1871)	慶應義塾、三田に移転
明治6年(1873)	三田山上に「慶應義塾医学所」設立(1880年)
大正6年(1917)	慶應義塾大学部医学科開設
大正7年(1918)	医学科付属看護婦養成所開設
芝白金三光町養生園に仮養成所を設置	
第一回生の養成を開始	
養成所および寄宿舎四谷区信濃町に移転	
大正8年(1919)	
大正9年(1920)	医学部開校ならびに大学病院開院
大正11年(1922)	医学部付属産婆養成所開設
昭和13年(1938)	大学医学部付属看護婦養成所に改称
昭和16年(1941)	戦時特令により卒業が短縮となったため、産婆専修科を設け夜間特別授業実施
昭和19年(1944)	医学部付属看護婦産婆養成所と改称
昭和20年(1945)	5月24日、空襲により医学部・病院施設の6割消失 8月15日、終戦

「独立自尊」と 「実学」を重んじる 看護教育の継承

戦後、大きなダメージから立ち直った看護婦産婆養成所は、昭和25年4月「厚生女子学院」として新たにスタートしました。看護婦免許も地方免許から国家免許となりました。

昭和25年(1950)	保健婦助産婦看護婦法により 医学部付属厚生女子学院と改称
昭和29年(1954)	医学部付属看護婦学院設置
昭和33年(1958)	慶應義塾創立100年記念式典
昭和35年(1960)	医学部付属看護婦学院廃止 看護婦進学コースとして別科課程設置
昭和37年(1962)	学則改定により全寮制廃止
昭和42年(1967)	学生寮竣工
昭和46年(1971)	大学病院付属高等看護学院 (准看護婦の夜間進学コース)設置
昭和51年(1976)	大学病院付属高等看護学院廃止
昭和52年(1977)	厚生女子学院に合併し、二部課程設置 学校教育法、施行規則等の一部改正により 厚生女子学院は専修学校となる (看護専門課程本科、進学科一部、進学科二部と改称)
昭和53年(1978)	厚生女子学院創立60周年記念式典
昭和58年(1983)	厚生女子学院進学科二部廃止
昭和63年(1988)	慶應義塾創立125年式典
平成2年(1990)	看護短期大学開設 医学部付属厚生女子学院閉校

21世紀の 看護医療の先導

21世紀のはじまり、
変動の大きな時代に看護医療の先
導的役割を果たす人材を育成する
ことを目的に、看護医学部が開
設されました。

平成13年(2001)	湘南藤沢キャンパスに看護医学部開設
平成15年(2003)	看護短期大学閉校
平成17年(2005)	大学院健康マネジメント研究科(修士課程)開設
平成19年(2007)	大学院健康マネジメント研究科(博士課程)開設
平成23年(2011)	医療3学部(医看薬)による合同教育開始
平成30年(2018)	慶應看護100年



看護医学部 実習風景



看護医学部校舎



上:小泉信三先生色紙
下:看護短期大学校舎(現孝養舎)



昭和30年頃の慶應義塾大学病院



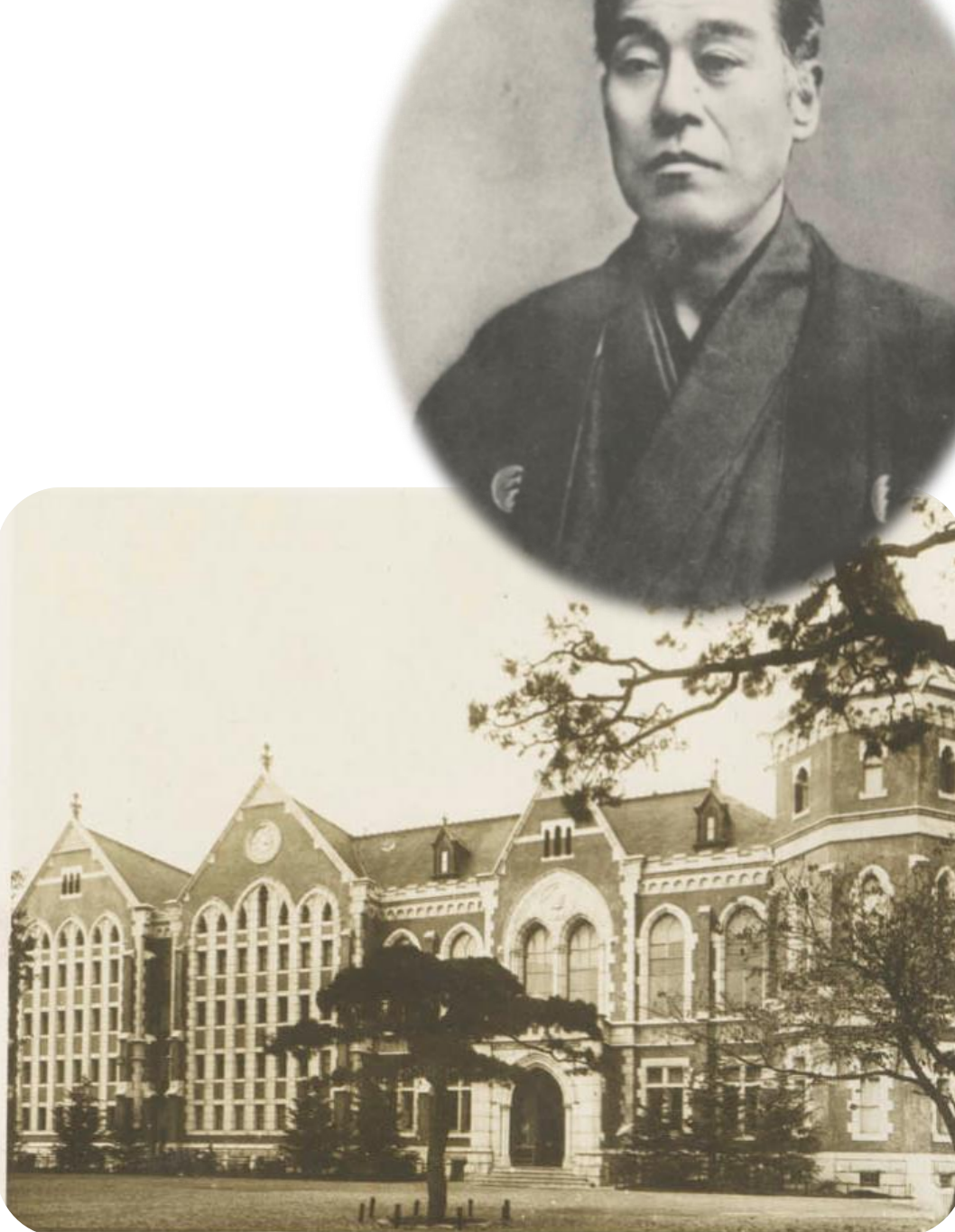
ひな祭り(昭和17年)



昭和初期の臨床実習風景



昭和初期の慶應義塾大学病院



上:福澤諭吉先生 下:慶應義塾図書館